

書評

化粧品科学へのいざない：推薦のこぼ

坂本一民・山下裕司編，薬事日報社

第1巻：文化・社会と化粧品科学 ISBN978-4-8408-1386-0

第2巻：化粧品を支える科学技術 ISBN978-4-8408-1425-6

第3巻：肌／皮膚，毛髪と化粧品科学 ISBN978-4-8408-1427-0

(各巻定価：本体2,400円＋税)

化粧品はヒトの皮膚に塗布することで、肌に対する種々の機能を付与するだけでなく、心地よさや使いやすさを兼ね備えるため自然科学分野だけを取り上げても生化学・化学・物理学等幅広い分野が盛り込まれた複合商品です。更に使用感や香りといった感性に訴える機能や、心の安らぎを提供するというのも化粧品の重要な役割であると言えます。化粧品の学問的守備範囲の広さから、私が専門にしてきた化粧品製剤にかかわる部分(第2巻)だけを取り上げても、複数の専門家による共著を取らないと成書にまとめ上げることが難しいという分野です。まして本シリーズは化粧品という製品に限らず、化粧に関わる人間科学・社会学・歴史学までその守備範囲に取り入れており、化粧品と化粧に関わる壮大な専門書兼教科書であるといえます。壮大とは言っても専門家が気合を入れて読むような本ではなく、気楽に読めるような内容と工夫が沢山施してあります。本シリーズのように広範囲に化粧品科学という切り口でまとめ上げるとなると編者としての幅広い知識と人脈、そして何よりも化粧品に対する愛情が大切な要素になると思います。本書の編者の一人である坂本一民氏は長い間、日本の化粧品研究分野の技術向上に企業の枠を超えて貢献してきた人物であります。一方、山下裕司氏も坂本氏と共にまた薬学部の中にユニークな化粧品科学の教室を立ち上げ、学際的发展させてきた人物です。本シリーズのように化粧と人間との関りから、化粧品の内容に至る分野までを俯瞰する本シリーズを編纂するにはお二人はまことに相応しい人物であると言えます。



シリーズタイトルは「化粧品科学へのいざない」となっていますが、自然科学に関係するテーマだけでなく、ヒトの化粧行動や化粧の歴史までを含めた化粧に関わる内容になっています。従いまして、化粧および化粧品に関わる研究情報に興味がある方はシリーズを通して読まれると、化粧品に関する最新の研究成果の全体を把握するのに有用と言えます。また、自分の専門分野とその周辺の最新の研究動向を理解したい方には、分冊を選んで読んでいただいても十分に役立つであろうと思います。何れの章も内容レベルは各専門家から化粧品に興味があって初めて勉強してみたいと考えている方まで広く対応しており、読み易く理解しやすい工夫が色々と盛り込まれています。本シリーズは逐次刊行されている途中ではありますが、第一巻から第三巻までが現在刊行されています。第1巻の「文化・社会と化粧品科学」は化粧品とヒトとの関りに関して扱われており、化粧品を扱うあらゆる社会活動をされている方に目を通していただき、日々の活動の参考にしていただければと思います。第2巻の「化粧品を支える科学技術」はトップレベルの化粧品製剤化技術を紹介しています。化粧品の開発および製造にかかわる仕事に携わっている方には有用な教科書と言えます。第3巻の「肌／皮膚，毛髪と化粧品科学」は化粧品の使用対象となる肌や毛髪に関する研究成果を取り上げています。化粧品の開発に関わるあらゆる分野の研究員，美容現場で働くスタッフの方にも最新の研究動向をまとまった形で理解するのに役立つものと思います。

ここでは私の専門分野である第2巻の「化粧品を支える科学技術」を中心に、先に述べました読み易く・分かりやすい種々の工夫を紹介してみたいと思います。まずは、シリーズを5巻に分けてソフトカバーにしていること、B5サイズで縦書きの文章にしていることは、手に取って外出先でも気楽に読めるようにしています。第2巻は8章に分かれていて、それぞれの専門家が執筆していますが、各章バラバラという感じはなく、いずれの章も模式図や身近な

事例紹介を多く取り入れています。このような工夫は新入社員や学生が現象や理論を根本的・体系的に理解するのに有用であると思われます。また、引用文献が多く最新の研究動向の情報を深く掘り下げていることで、ある程度の知識と経験を持った研究スタッフのニーズにも対応できる内容になっています。専門用語の定義が数多くまとめられていて、多数の論文を読んで理解するより短時間で全体像が理解できるよう工夫されています。各巻のそれぞれの章の執筆者に関してはそれぞれの分野で最も活躍している専門家に執筆を依頼されています。よくこれだけの執筆陣を用意できたものだと感心してしまいます。また、辻井薫氏によるコラムは途中の筆休めにもなりますし、私たちの身近に出現する（例えば、物が溶けたり溶けなかったりする）現象を、何故という切り口でズバツと答えており読者の心を刺激するものと思います。

今後発行される第4巻「化粧品の成り立ちと機能」、第5巻「化粧品のそぞろ歩き」の発行も楽しみにしておりますが、まずは化粧品の開発に携わっている方や化粧品の製造を担当されている方の専門書として、化粧品の販売をする仕事に関わっている方の一般教養として、化粧品に興味を持っている学生諸君の教科書として、第1巻から第3巻までを活用してみても、と思います。

鷺谷廣道
ポーラ化成工業株式会社元社長